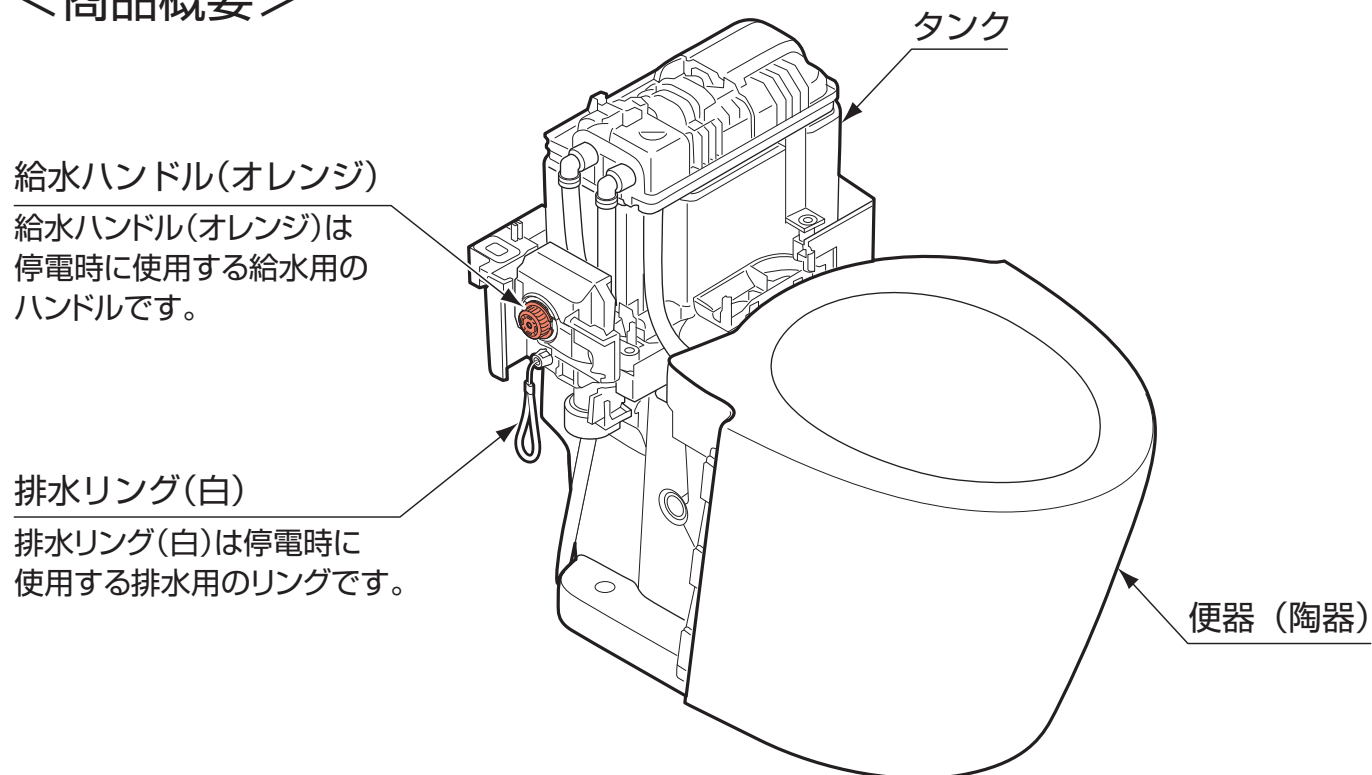
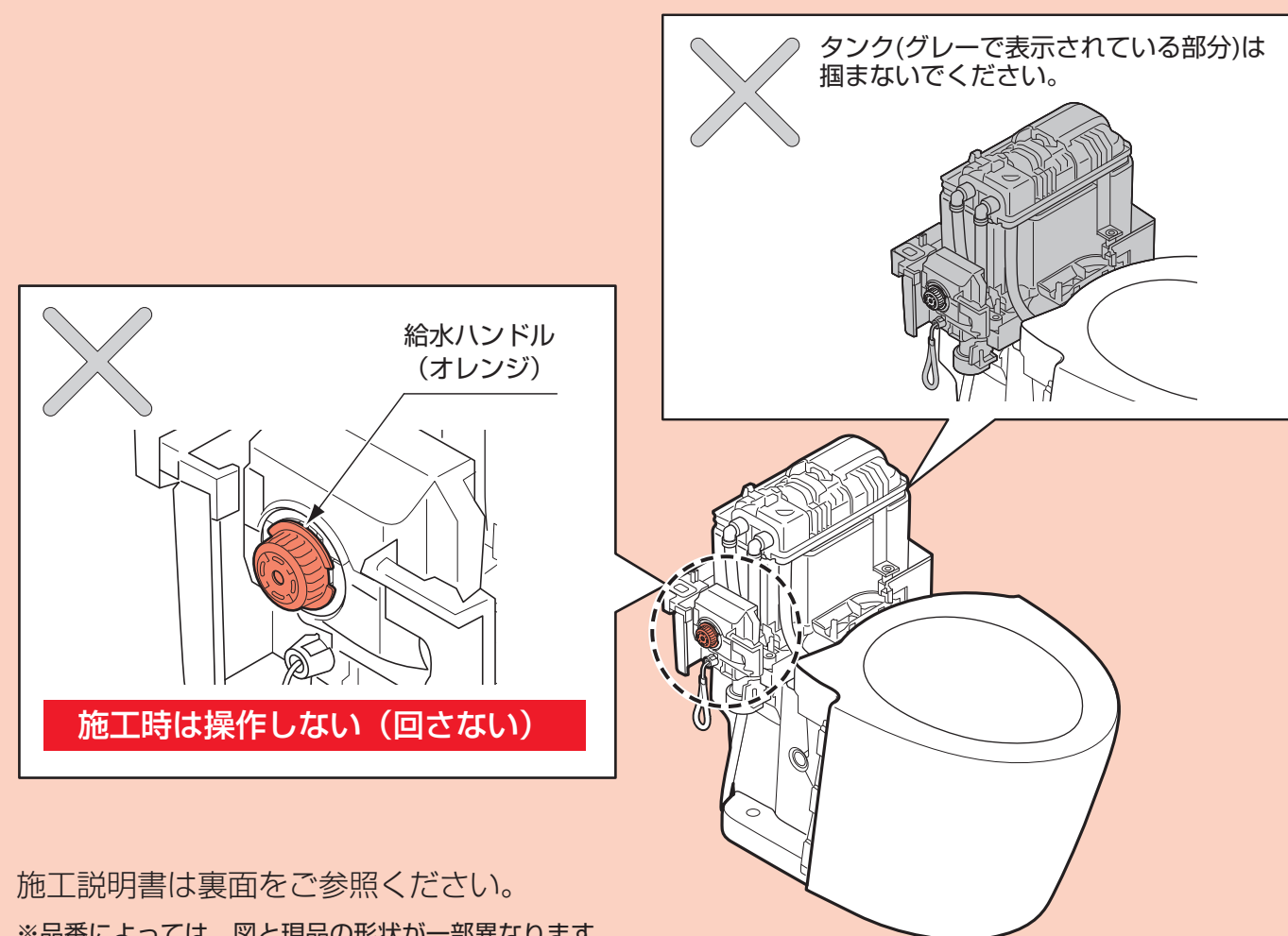


<商品概要>



施工時は注意してください



施工説明書は裏面をご参照ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

床置壁排水大便器

品番：CS877系

◆本紙は壁排水、排水心120±5 mmの施工情報が確認できます。
■で表示している箇所は、新規性があることを示しています。

安全に関するご注意 2

取り付け前のご注意 2～4

同梱部品 4
別売品・オプション品 5
各部のなまえ 5
施工手順 6
取付方法 6～11

取り付け後の確認 11

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめ
ご了承ください。

はじめに確認

取り付け前に確認

取り付ける時に確認

取り付け後に確認

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

	注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。
---	--

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

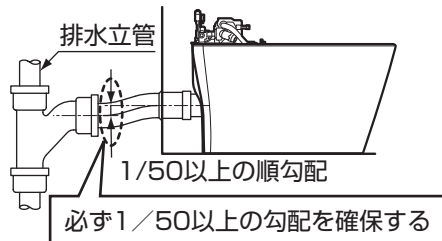
	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 注意	
 禁止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす、 火災が発生して家財などを燃やすなど、財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	浴室など湿気の多い場所に設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
 必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意

<給水配管、排水管の確認>

- 施工前には、埋設されている給水配管などの位置を確認してください。（破損するおそれがあります）
- 排水管サドル、支持金具、バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施してください。
固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないように注意してください。
- 排水管は、必ず 1 / 50 以上の勾配を確保してください。



 注意	
 必ず実行	排水管を逆勾配にしない 器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具の トラップ内に逆流するおそれがあります。

<必要な給水圧力について>

- 取り付けるウォシュレットによって、最低必要水圧が異なる場合があります。
ウォシュレットの施工説明書に記載している圧力範囲を確認してご使用ください。

<防火区画の対応について>

- 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
防火区画対応が必要だと指示された場合は、別売品の大便器背面カバー（防火区画対応）壁排水用（品番：HM877P）をご購入ください。

取り付け前のご注意

<取り付けスペース、取付面について>

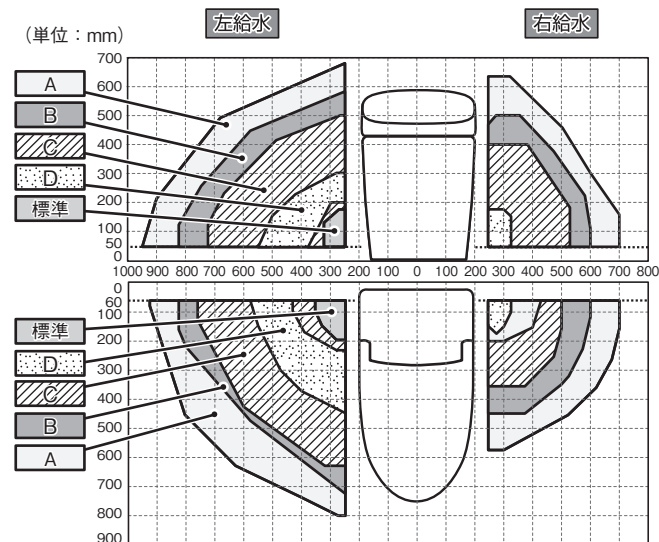
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
（ドアが閉まらないおそれがあります）
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から 150mm 以上の空間を確保してください。
（壁が変色する原因となります）
- 棚、収納キャビネットは、後ろ壁に床面から 1401 mm以上、上に取り付けてください。
（1400 mm 以下に棚、収納キャビネットを取り付けた場合は、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります）
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060（Φ8、10 個 1 組）」を別途手配してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

<メタルマークについて>

- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

<給水管・排水管について>

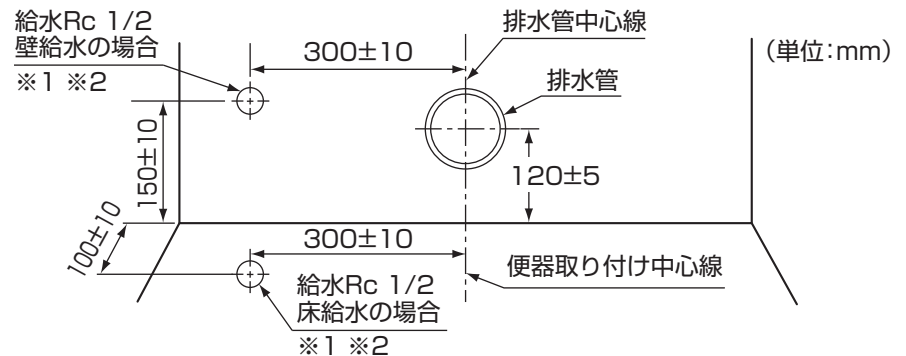
- 施工前に給水管取り出し位置が下記「給水位置」に含まれていることを確認してください。
（所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります）



止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(左図参照)
	—	—	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
	HM915	600 mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
	HM914	525 mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
	HM913	450 mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
	HM912	250 mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲

- 給水ホースの到達範囲を示したものです。
ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
- 止水栓取付位置 , , ,  については、HM915, HM914, HM913, HM912を別途手配し、標準給水ホースに接続して取り付けてください。

- 排水心位置が所定の範囲であることを確認してください。
（所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります）

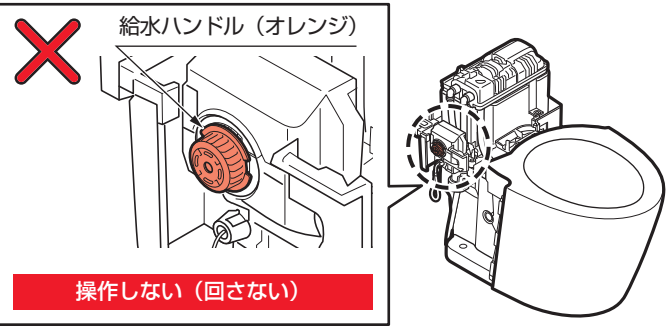


- ※1 給水管が床面・壁面から8 mm 以上埋没する場合は、市販の持ち出しソケットなどを使用し、所定の立ち上げ位置に調整してください。
- ※2 給水管取り出し位置が「給水位置」 , , ,  の場合、給水位置に合わせて止水栓の取り付け位置と角度を調整してください。

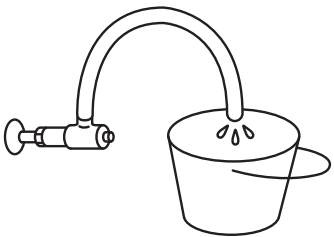
取り付け前のご注意

＜施工時の注意事項について＞

- 給水ハンドルは停電時に使用する給水用のハンドルです。施工時は操作しないでください。（試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります）



- 商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



＜通水のタイミングについて＞

- 商品への通电および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。

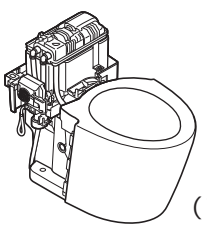
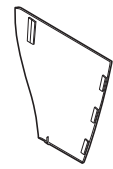
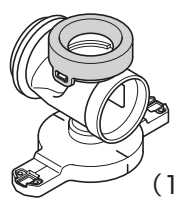
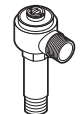
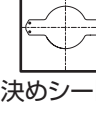
＜ウォシュレットについて＞

- 電源は交流 100V(50/60Hz) です、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。

同梱部品

部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては図と現品の形状が異なります。

本商品は、便器の前固定の施工はありません。

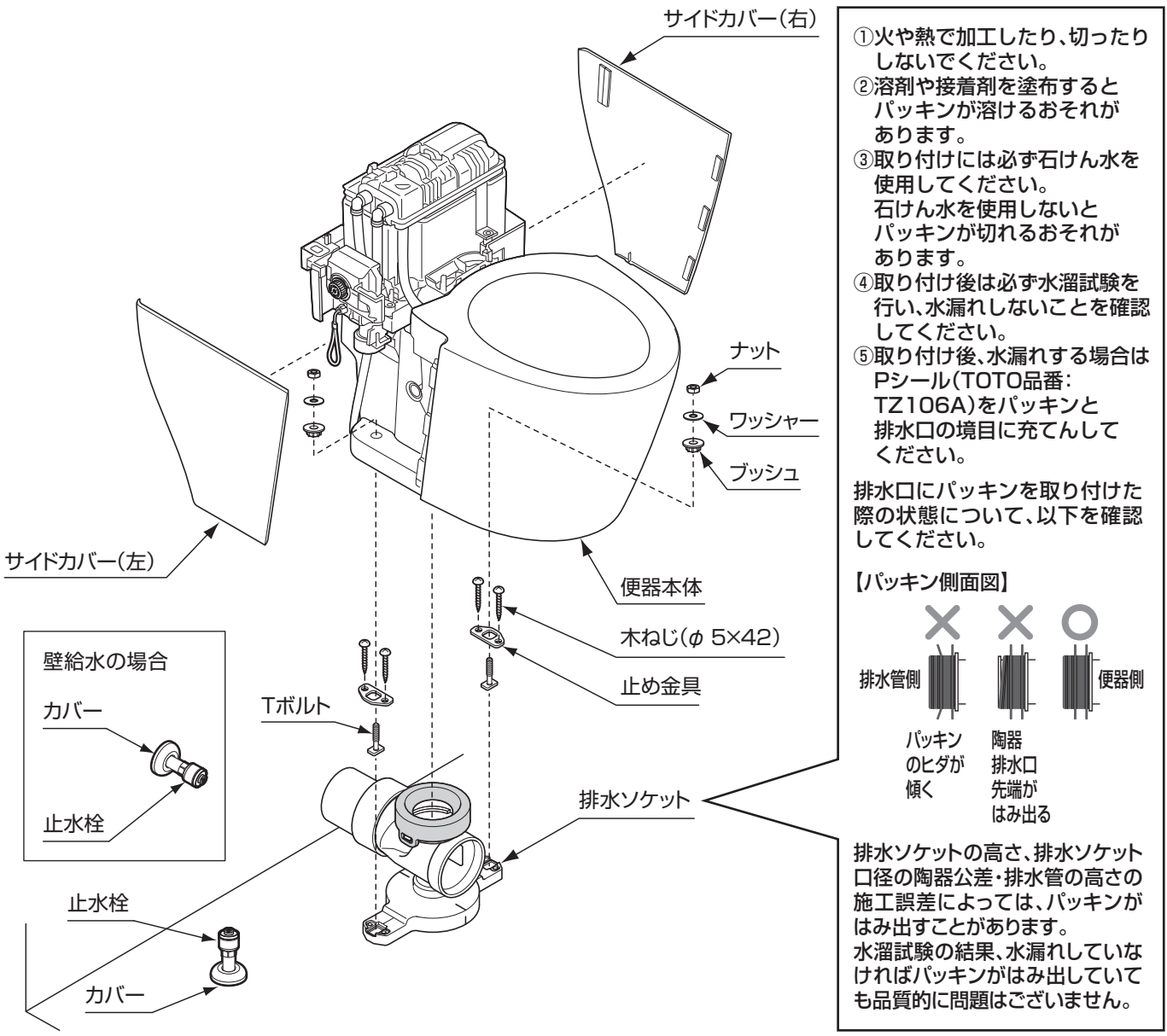
便器本体		サイドカバー		排水ソケット	
 (1個)		 サイドカバー(左)(1個)	 サイドカバー(右)(1個)	 (1個)	
給水金具		固定金具類		その他	
 止水栓(1個)		 Tボルト(2本)	 止め金具(2個)	 木ねじ(φ 5×42:4本)	 施工説明書(1部)
 カバー(1個)		 ナット(2個)	 ワッシャー(2個)	 プッシュ(2個)	 位置決めシート(1部)
※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。					

別売品・オプション品

必要に応じて、準備してください。

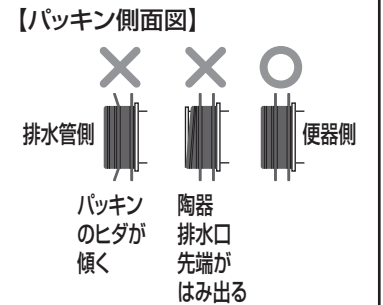
名称	品番	準備が必要な場合
大便器背面カバー(防火区画対応)壁排水用	HM877P	所轄消防署より防火区画対応が必要だと指示された場合
給水延長用フレキホース(600 mm)	HM915	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(525 mm)	HM914	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(450 mm)	HM913	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
給水延長用フレキホース(250 mm)	HM912	止水栓取付位置(P.3)が  の場合
防振シート	HR800RR	小用時や洗浄時の階下へ伝わる固体伝播音を効果的に低減させたい場合

各部のなまえ



- ①火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- ②溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- ③取り付けには必ず石けん水を使用してください。石けん水を使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- ④取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- ⑤取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番: TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充てんしてください。

排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。

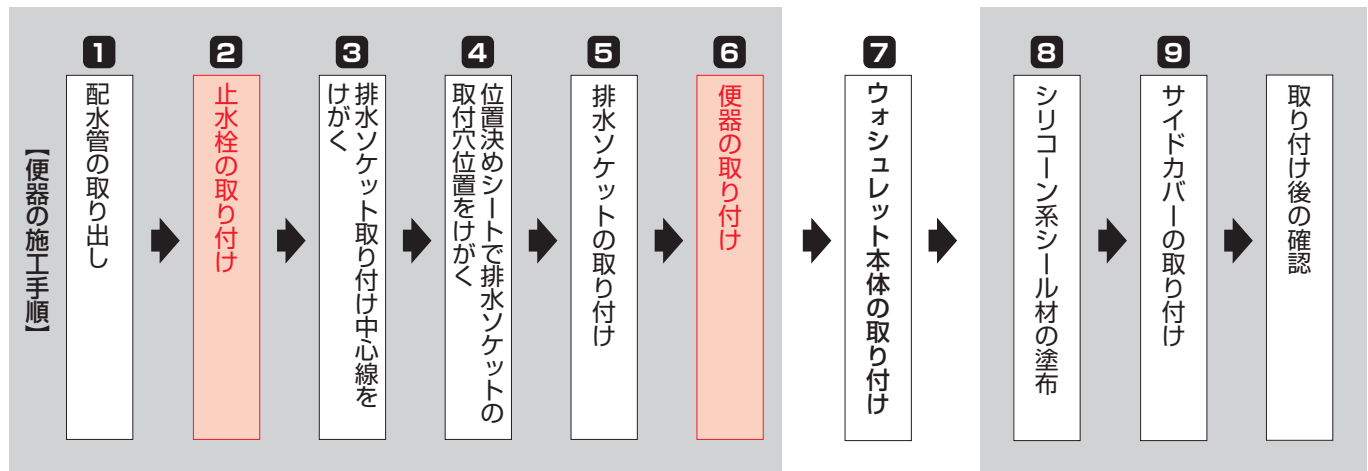


排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出しても品質的に問題はありません。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

は本紙、 はウォシュレットの施工説明書をご参照ください。

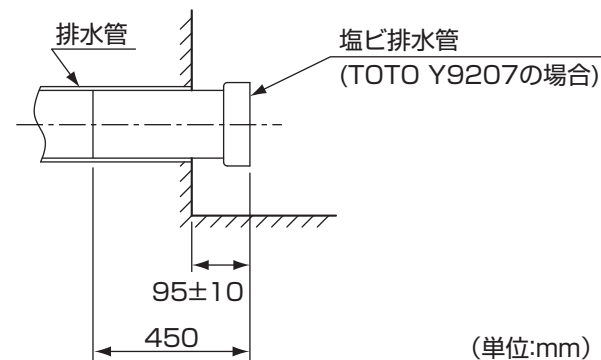


取付方法

1 排水管の取り出し

① 排水管を所定の位置に取り出す。

※排水高さの調節代は、120 mm（調整代：±5 mm）です。

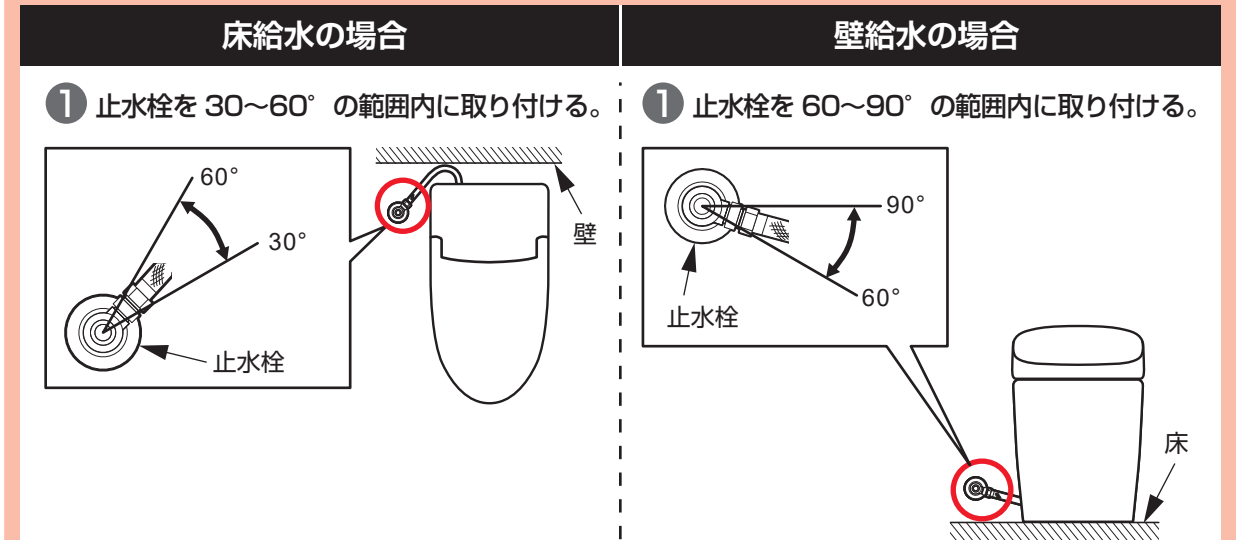


⚠️ 注意	
❗ 必ず実行	排水管を逆勾配にしない 器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具の トラップ内に逆流するおそれがあります。

取付方法

2 止水栓の取り付け

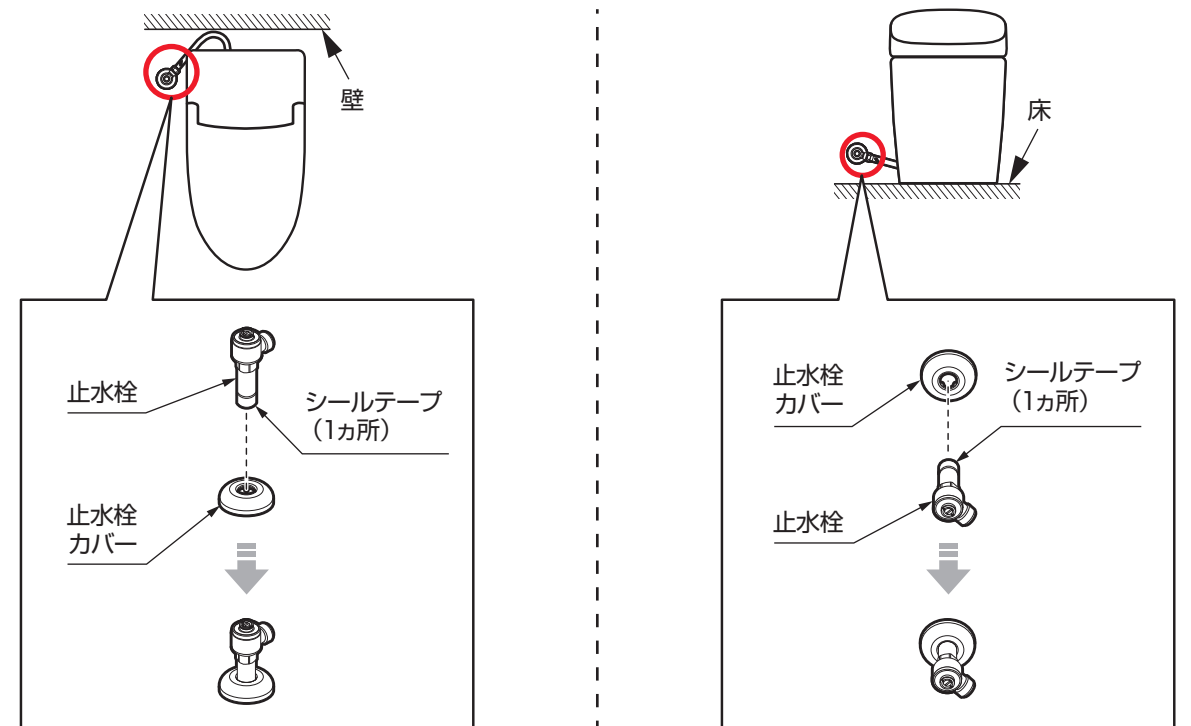
止水栓の角度を確認して取り付けてください



※上記の角度の範囲以外で止水栓を取り付けた場合、給水ホースのキンクや、サイドカバーの外れ、浮き、変形
などのおそれがあります。

※給水管取り出し位置が「給水位置」 A、B、C、D の場合、
給水位置に合わせて止水栓の取り付け位置と角度を調整してください。

⚠️ 注意	
❗ 必ず実行	止水栓を指定の角度の範囲で取り付ける 誤った角度に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。
	試運転後は接続部において水漏れしていないか確認する 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

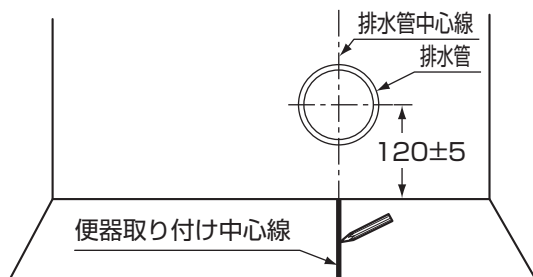


・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。
※取り付け時の際、止水栓の向きに気をつけてください。

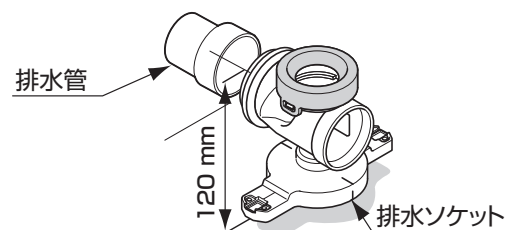
取付方法

3 排水ソケット取り付け中心線をけがく

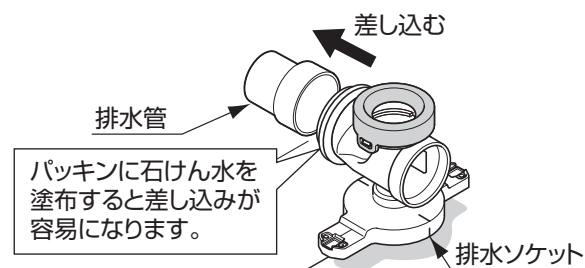
- ① 便器取り付け中心線をけがく。
(単位:mm)



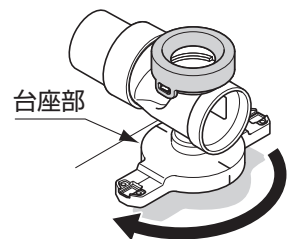
- ② 排水管高さが、120 mm (調節代: ±5 mm) であることを確認する。



- ③ 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。

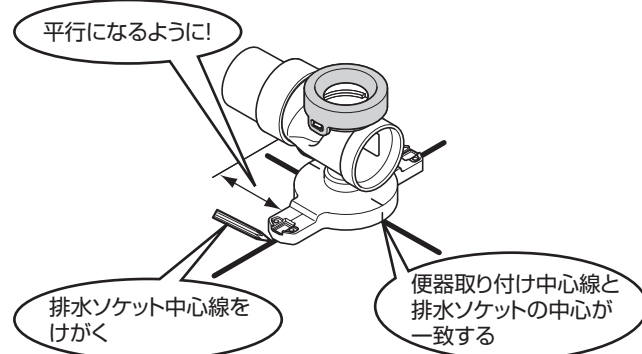


- ④ 台座部を床に当たるまで回転させる。



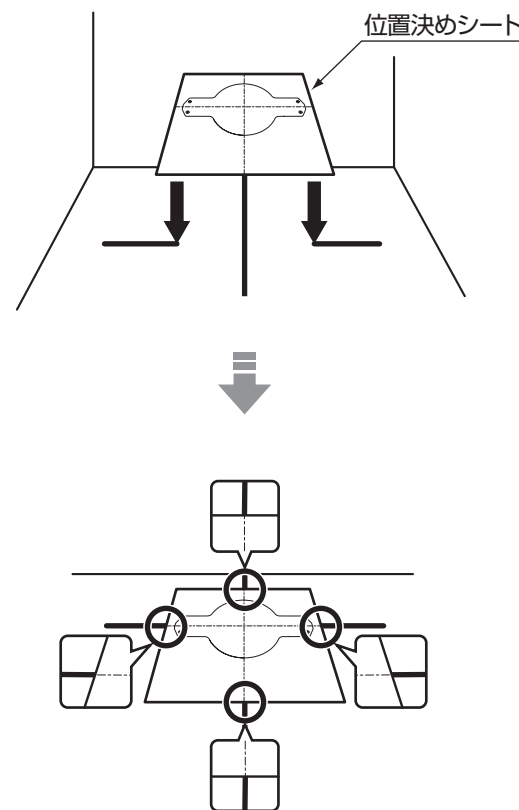
- ⑤ 排水ソケットが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。

※便器取り付け中心線と排水ソケットの中心が一致するように仮置きしてください。

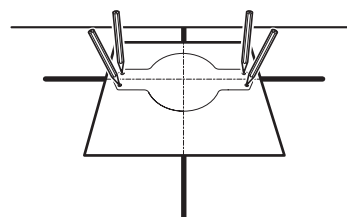


4 位置決めシートで排水ソケットの取付穴位置をけがく

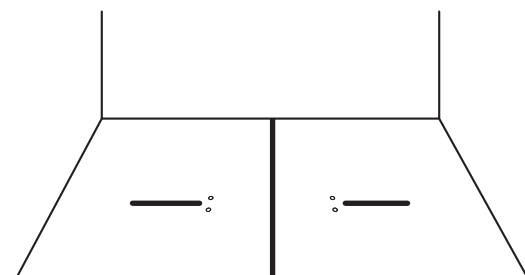
- ① 位置決めシートを広げ、排水管の中心線にあわせ床面に置く。



- ② 排水ソケット取付穴位置 (4カ所) をけがく。
けがいたあと、位置決めシートを取り外してください。



- ③ けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

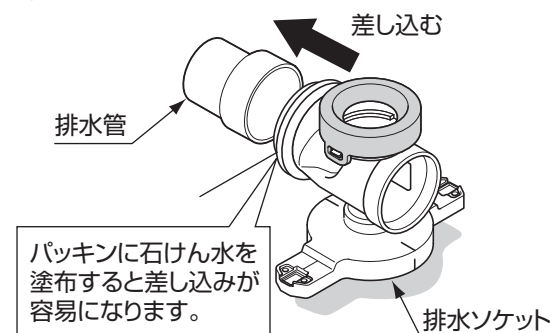


取付方法

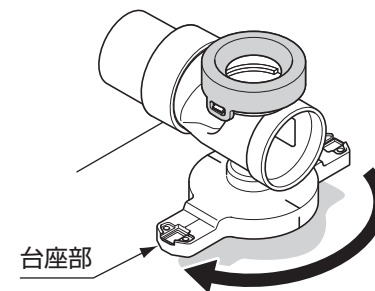
＜別売品の大便秘器背面カバー (防火区画対応) 壁排水用を取り付ける場合＞
以降の取付方法は、大便秘器背面カバー (防火区画対応) 壁排水用同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

5 排水ソケットの取り付け

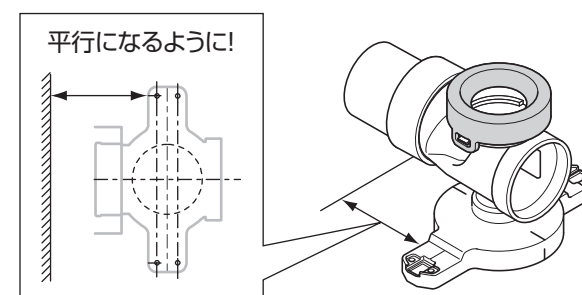
- ① 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



- ② 台座部を床に当たるまで回転させる。



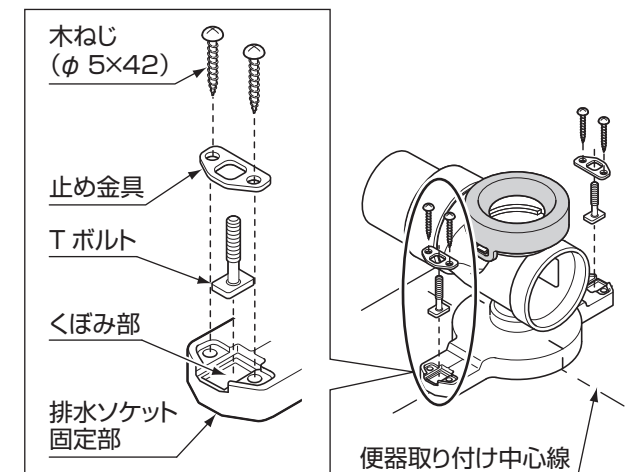
- ③ 排水ソケットが壁に平行になるように調整する。



5 排水ソケットの取り付け

- ④ 排水ソケット固定部 (2カ所) に、Tボルト、止め金具の順でセットし、排水ソケットを木ねじで床 (4カ所) に固定する。

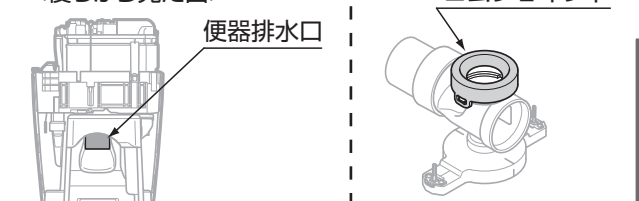
※排水ソケットのくぼみ部に、Tボルトの頭部を確実にはめ込んでください。
便器の取り付け時にTボルトが干渉するおそれがあります。



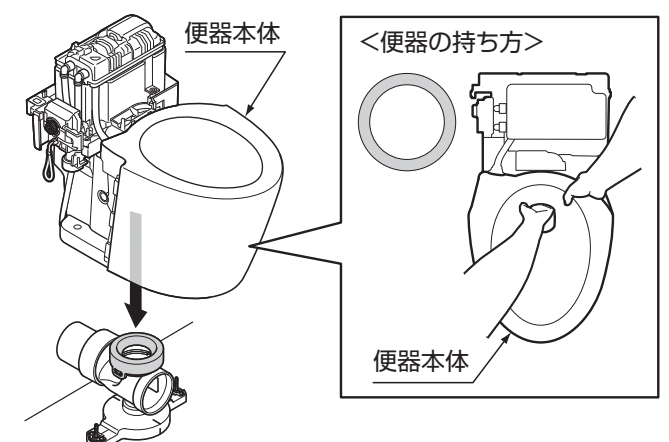
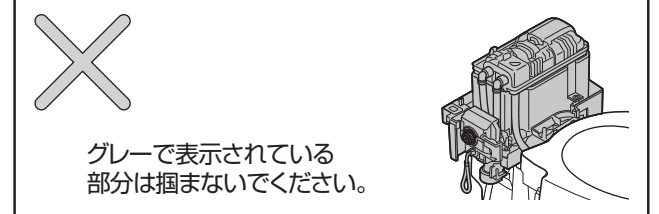
6 便器の取り付け

- ① 便器排水口および排水ソケットのゴムジョイントのごみや汚れを取り除く。

＜後ろから見た図＞



- ② 図示の通りに便器を持つ。



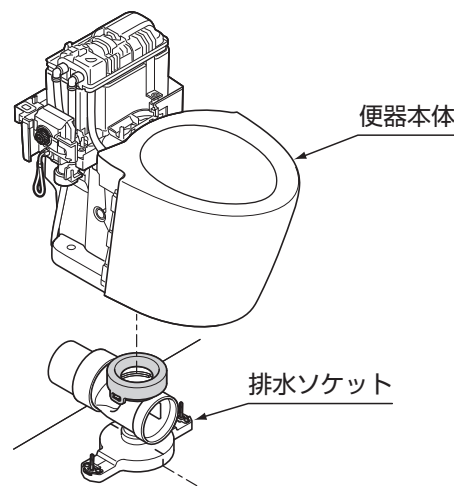
取り付ける時に確認

取付方法

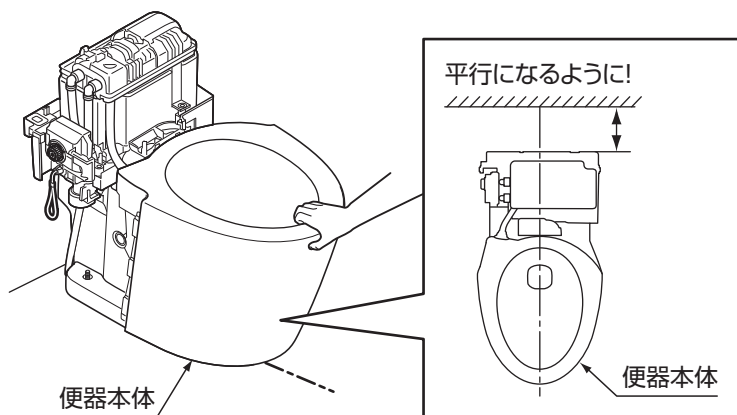
6 便器の取り付け

③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む。

- ・目安として壁から10～15 mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
- ※壁に傷がつかないように差し込んでください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

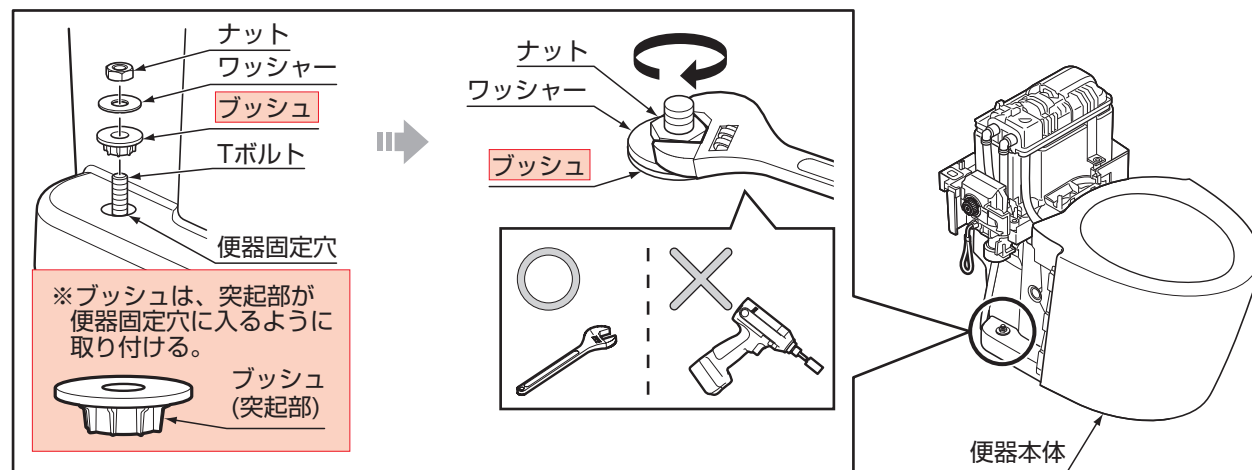


④ 便器本体が壁に平行になるように調整する。



⑤ Tボルト（左右2カ所）に **ブッシュ**、ワッシャー、ナットの順で取り付け、便器がガタつかないように締め付ける。

- 締め付け後に手で回して緩まないことを確認する。
※ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。



7 ウォシュレット本体の取り付け

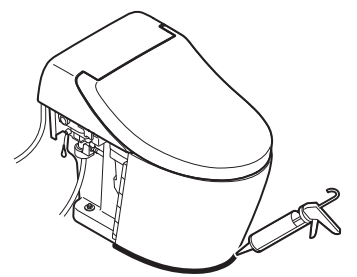
① ウォシュレット本体の施工説明書に従い、ウォシュレット本体を取り付ける。

取付方法

8 シリコン系シール材の塗布

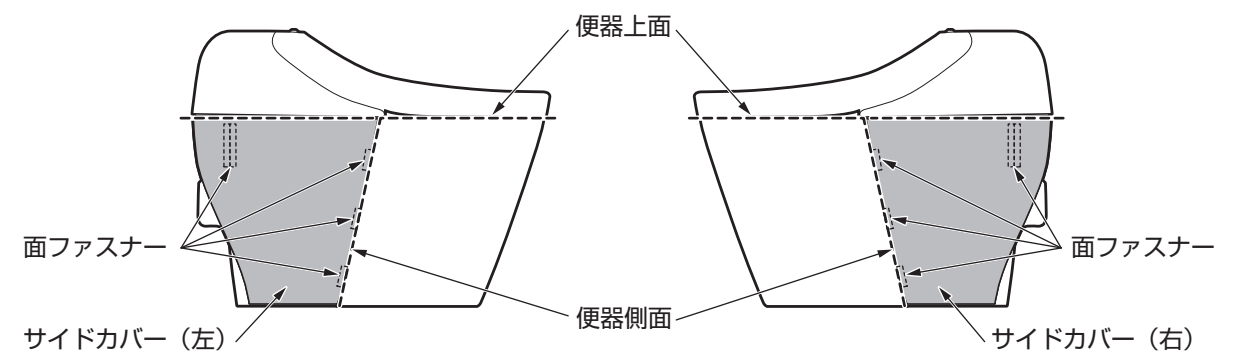
① シリコン系シール材を塗布する。

- トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材を塗布することをおすすめいたします。



9 サイドカバーの取り付け

① 便器上面と便器側面に合わせて、便器とのすき間が目立たないようにサイドカバーを取り付ける。



面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、サイドカバー(左)とサイドカバー(右)が外れないことを確認してください。

- ※給水ホースは、サイドカバー(左)に干渉しないように取り回してください。
給水ホースを取り回すときは、給水ホースがキンクしないように注意してください。

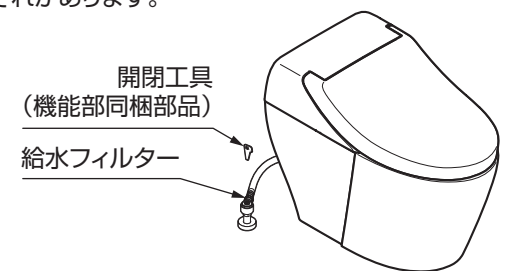
取り付け後の確認

<接続部の水漏れ確認>

- 試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
- 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

<止水栓の給水フィルター掃除>

- 試運転後、必ず止水栓を閉じて給水フィルターを「掃除」してください。
- ※機能部に付属の開閉工具で給水フィルターを外して、掃除してください。
- ※フィルターの掃除後、忘れず止水栓を開けてください。



<便器の汚れがないか確認>

- 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
- もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
- 陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
- スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。
- 便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

<サイドカバーの取り付け確認>

- 便器とサイドカバーの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがいいことを確認してください。
- すき間や浮き上がりがある場合、便器からサイドカバーが外れるおそれがあります。